

いざ動労の大改革へ！

『勝利の2ヶ月』
をうけつぎ

動労
千葉

第二回臨時大会圧倒的成功！

全組合員の皆さん！ 動労千葉第二回臨時大会は、昨五月三十一日一時過ぎ、千葉県労働者福祉センター会議室において「本部」暴力集団のありとあらゆる大会破壊、妨害をはねのけ、議長団に鶴岡（勝浦）、永田（千転）両代議員を選出し、執行部一〇名中一〇名、会計監査員三名中二名、代議員七二名中五八名、傍聴者約一五〇名が結集して圧倒的にかちとられた。本臨時大会は、第一に「30動労千葉結成大会以降二ヶ月間の闘いに勝利の宣言を発し、これを全体で確認する。第二に公労委の認知にむけた組合規約・諸規則の整備、改正を行なう。第三に二ヶ月間の闘いの勝利にふまえ、さらに未結成支部・分科会の早期結成にむけて全体で奮闘する。第四に「本部」暴力集団の組織破壊攻撃に対し、創意ある取り組みと事実にもとづく宣伝活動を強化する。などを全体で確認し、一五時過ぎ成功裡に終了した。

決定された当面のとりくみ

1. 蘇我・佐倉・銚子各支部の結成を六月中にかちとるため、対話オルグの展開など総力をあげて取り組む。
2. 検査、検修、構運、事務、管理分科会の結成を六月中にかちとる。
3. 動労大改革に向けた全国オルグを展開する。
4. 動労本部反動暴力集団の組織破壊攻撃粉碎を中心とする闘いについては二ヶ月間の教訓にふまえ次のとおり対処する。
 - (1) 職場防衛を基本とし、とくに日常的組合活動をいかに防衛し継続するかという観点から、創意性ある取り組みを強化する。
 - (2) ウソとデマを書きつらねた誹謗・中傷、キャンペーンを軽視することなく事実をもって暴露する「日刊動労千葉」を軸とした宣伝活動を強化する。
5. 本臨大をもって公労法下の組合として正式認知を獲得するため、公労委に届出を行なう。
6. ジェット燃料の増送計画については、キッパリと拒否し、場合によっては実力闘争を配置し闘う。
7. 東京サミット粉砕を中心とする、反戦・政治反動阻止の闘いについては教宣活動の強化をはかりつつ従来の共闘関係を軸に取組む。
8. 磐石の財政体制確立に向けて共済カードの作成完遂をはじめ、総務・財政関係の取り組みを強化する。

採択された
スローガン

二ヶ月間の激闘の勝利にふまえ、動労千葉一四〇〇名のさらなる団結をうちかため、一切の組織破壊攻撃を粉碎し、動労大改革一八〇年代労働運動の戦闘的再生にむかって前進しよう！



4・17襲撃で重傷→長期入院の片岡・津田沼
支部長 退院＝戦線復帰を力強く決意表明。

来賓の方々の発言から

△浅田 光輝氏△
ますます強まる政治反動と労働組合をまき込んだ国鉄再建合理化の攻撃がかけられている。動労「本部」の「貨物安定宣言」「三里塚敵対」の方針は、この攻撃に屈服するものだ。今や皆さんの闘いの正当性は、明らかです。がんばって下さい。

△中江 昌夫氏△
私の「辞任の声明」で本部の態度が少しでも改まるきっかけとなればと淡い期待を持っていた。しかし、動労の変質はますます進行している。八〇年代労働運動の再構築にむかって、皆さんと共に動労再編をめざしてガンバリます。